

認定看護師教育基準カリキュラム

(特定行為研修を組み込んでいる教育課程:B課程教育機関)

分野:腎不全看護

令和3年3月作成

令和3年3月改正(共通科目及び特定行為研修区分別科目のみ)

令和4年1月下線部修正・追記(共通科目のみ)

(目的)

1. 腎不全看護分野において、個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
2. 腎不全看護分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. 腎不全看護分野において、看護職等に対しコンサルテーションを行える能力を育成する。
4. 腎不全看護分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

(期待される能力)

1. 高い臨床推論力と病態判断に基づき、慢性腎臓病(CKD)の病期に応じて腎障害の進行、重症化予防のためのセルフマネジメントにかかわる実践ができる。
2. 腎不全患者・家族の権利を擁護し、意思決定を支援できる。
3. 最適な透析効率を保障し、安全で安楽な透析療法が実践できる。
4. 長期にわたる療養生活を支援するため、発達段階及び身体・心理・社会的側面から統合して健康状態を見極め、健康的な生活を送るための支援ができる。
5. 地域包括ケアシステムにおいて、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
6. 腎不全看護分野において役割モデルを示し、看護職への指導、看護職等へのコンサルテーションを行うことができる。

(コアとなる知識・技術)

1. 身体的・心理的・社会的アセスメントを行うための知識及び援助技術
2. 腎不全の病態生理・障害発生メカニズムを判断できる知識・技術
3. 疾病の進展予防、合併症の早期発見と症状マネジメント、セルフケア支援の知識・技術
4. 腎代替療法の選択・変更・中止にかかわる自己決定を支援することができる知識・技術
5. 透析療法における至適透析を実現するための知識・技術
6. 急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理を安全・確実にできる知識・技術

教科目一覧

科目名	教科目名	時間数*	
共通科目	1. 臨床病態生理学	40	380
	2. 臨床推論	45	
	3. 臨床推論:医療面接	15	
	4. フィジカルアセスメント:基礎	30	
	5. フィジカルアセスメント:応用	30	
	6. 臨床薬理学:薬物動態	15	
	7. 臨床薬理学:薬理作用	15	
	8. 臨床薬理学:薬物治療・管理	30	
	9. 疾病・臨床病態概論	40	
	10. 疾病・臨床病態概論:状況別	15	
	11. 医療安全学:医療倫理	15	
	12. 医療安全学:医療安全管理	15	
	13. チーム医療論(特定行為実践)	15	
	14. 特定行為実践	15	
	15. 指導	15	
	16. 相談	15	
	17. 看護管理	15	
専門科目	認定看護分野専門科目	15	195
	1. 腎不全看護概論	15	
	2. 病態生理と治療法概論 I	15	
	3. 病態生理と治療法概論 II	30	
	4. 腎不全患者の理解	30	
	5. 腎不全患者及び家族の療養支援	30	
	6. 治療を支える看護に必要な知識・技術	30	
	7. 治療環境に応じた安全管理	15	
8. 腎不全看護における多職種連携と社会的支援	30		
専門科目	特定行為研修区分別科目	22	37
	1. 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 2. 透析管理関連	15	
演習・実習	統合演習	15	165
	臨地実習	150	
		合計時間数	777 時間

*認定看護師教育基準カリキュラムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用している。特定行為研修は60分を1時間とする「実時間」を適用しているが、該当教科目の時間数は全て「みなし時間」で設定し表記している。

■共通科目

教科目	ねらい	単元 (ゴシック体:特定行為研修 共通科目 【学ぶべき事項】に記載の学習内容)	授業形態 ^{※1} 評価方法 ^{※2}	時間数
1.臨床病態生理学	1) 臨床解剖学・臨床病理学・臨床生理学を学び、病態生理学的変化を判断するための知識を習得する。 2) 演習を通し、病態生理学的変化を判断するための知識を深める。	臨床解剖学、臨床病理学、臨床生理学を学ぶ 1) 臨床解剖学 2) 臨床病理学 3) 臨床生理学	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験	40
2.臨床推論	1) 症候学、臨床検査・画像検査、臨床疫学を学び、演習を通して臨床推論に必要な知識を習得する。	臨床診断学、臨床検査学、症候学、臨床疫学を学ぶ 1) 診療のプロセス 2) 臨床推論(症候学を含む)の理論と演習 3) 各種臨床検査の理論と演習 心電図/血液検査/尿検査/ 病理検査/微生物学検査/ 生理機能検査/その他の検査 4) 画像検査の理論と演習 放射線の影響/単純エックス線検査/超音波検査/CT・MRI/ その他の画像検査 5) 臨床疫学の理論と演習	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験	45
3.臨床推論: 医療面接	1) 医療面接の理論と演習・実習を通して、症状の変化に対応し、身体所見・検査所見から病態を把握する臨床推論のプロセスを理解する。	1) 医療面接の理論と演習・実習	[授業形態] 講義、演習及び実習(医療面接) [評価方法] 筆記試験及び各種実習の観察評価	15
4.フィジカル アセスメント: 基礎	1) 身体診察の基本手技を理解し、実践できる。	身体診察・診断学(演習含む)を学ぶ 1) 身体診察基本手技の理論と演習・実習 2) 部位別身体診察手技と所見の理論と演習・実習 全身状態とバイタルサイン/頭頸部/ 胸部/腹部/四肢・脊柱/ 泌尿・生殖器/乳房・リンパ節/ 神経系	[授業形態] 講義、演習及び実習(身体診察手技) [評価方法] 筆記試験及び各種実習の観察評価	30
5.フィジカル アセスメント: 応用	1) 小児・高齢者の特徴をとらえたフィジカルアセスメントを理解し、実践できる。 2) 救急医療・在宅医療等の状況に応じたフィジカルアセスメントを理解し、実践できる。	1) 身体診察の年齢による変化 小児/高齢者 2) 状況に応じた身体診察 救急医療/在宅医療	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験	30

教科目	ねらい	単元 (ゴシック体:特定行為研修 共通科目 【学ぶべき事項】に記載の学習内容)	授業形態 ^{※1} 評価方法 ^{※2}	時間数
6.臨床薬理学: 薬物動態	1)安全確実な薬剤投与を行うため、薬物動態について理解する。	薬剤学、薬理学を学ぶ 1)薬物動態の理論と演習 ※年齢による特性(小児/高齢者)を含む	[授業形態] 講義及び演習(事例を用いた検討を含む) [評価方法] 筆記試験	15
7.臨床薬理学: 薬理作用	1)安全確実な薬剤投与を行うため、薬物動態を踏まえた薬物の作用機序と、主要薬物の薬理作用・副作用について理解する。	1)主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 ※年齢による特性(小児/高齢者)を含む	[授業形態] 講義及び演習(事例を用いた検討を含む) [評価方法] 筆記試験	15
8.臨床薬理学: 薬物治療・管理	1)安全確実な薬剤投与・管理を行うため、主要薬物の相互作用、主要薬物の安全管理・処方について理解する。	1)主要薬物の相互作用の理論と演習 2)主要薬物の安全管理と処方の理論と演習 ※年齢による特性(小児/高齢者)を含む	[授業形態] 講義及び演習(事例を用いた検討を含む) [評価方法] 筆記試験	30
9.疾病・臨床病態 概論	1)主要疾患の病態と臨床診断・治療を理解する。	主要疾患の臨床診断・治療を学ぶ 1)主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論 循環器系/呼吸器系/消化器系/ 腎泌尿器系/内分泌・代謝系/ 免疫・膠原病系/血液・リンパ系/ 神経系/小児科/産婦人科/精神系/ 運動器系/感覚器系/感染症/ 悪性腫瘍/その他	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験	40
10.疾病・臨床病態 概論:状況別	1)状況に応じた臨床診断・治療(救急医療、在宅医療等)を理解する。	状況に応じた(あらゆる年齢・対象を含む)臨床診断・治療を学ぶ 1)救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 2)在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験	15
11.医療安全学: 医療倫理	1)実践の場において、対象の人権擁護・知る権利・自律性(自己決定)を尊重した看護を提供するため、医療倫理についての理解を深め、実践活動にどのように反映できるか考察する。	特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程(理論、演習・実習)を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ 1)特定行為実践に関連する医療倫理	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験	15

教科目	ねらい	単元 (ゴシック体:特定行為研修 共通科目 【学すべき事項】に記載の学習内容)	授業形態 ^{※1} 評価方法 ^{※2}	時間数
12.医療安全学: 医療安全管理	1) 医療現場における安全管理をめぐり取り組みの経緯、医療事故発生メカニズムについて理解する。また、実践の場において、看護職者及び他職種との連携を図り、医療事故を防止するための情報収集・分析・対策立案・評価・フィードバックを実践する能力を習得する。 2) 提供するケアの質保証について理解する。	特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程(理論、演習・実習)を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ 1) 特定行為実践に関連する医療管理、医療安全、ケアの質保証(Quality Care Assurance)を学ぶ ①医療管理 ②医療安全 ③ケアの質保証	[授業形態] 講義、演習及び実習(医療安全)★ [評価方法] 筆記試験及び各種実習の観察評価	15
13.チーム医療論 (特定行為実践)	1) 質の高い医療・看護の効果的・効率的な提供に向けたチーム医療の推進について考察する。また、多職種協働の課題及び集団や組織の目標・課題を達成する上で必要なリーダーシップについて理解する。	特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程(理論、演習・実習)を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ 1) 特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(Inter Professional Work(IPW))(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ ①チーム医療の理論と演習 ②チーム医療の事例検討 ③コンサルテーションの方法 ④多職種協働の課題	[授業形態] 講義、演習及び実習(チーム医療)★ [評価方法] 筆記試験及び各種実習の観察評価	15
14.特定行為実践	1) 特定行為実践のための関係法規を理解する。特定行為の実践に向け、根拠に基づいた手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後に再評価するプロセスについて理解する。また、特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を理解する。	特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程(理論、演習・実習)を学ぶ中で以下の内容を統合して学ぶ 1) 特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ ①特定行為関連法規 ②特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習 2) 根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ ①手順書の位置づけ ②手順書の作成演習 ③手順書の評価と改良	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験	15

★「12.医療安全学:医療安全管理」と「13.チーム医療論(特定行為実践)」の実習は、医療安全及びチーム医療の実習について、いずれか一方又は両方を行うものとする。

教科目	ねらい	単元 (ゴシック体:特定行為研修 共通科目 【学ぶべき事項】に記載の学習内容)	授業形態※1 評価方法※2	時間数
15.指導	1) 組織内外の看護職者に対して、実践を通して知識・技術を共有し、相手の能力を高めるための指導能力を習得する。	1) 生涯教育と生涯学習 2) 成人学習者への教育 3) 教材観(主題観)、対象者観、指導観 4) 学習指導案の作成・発表	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験・レポート、実技試験等による評価のいずれでもよい。	15
16.相談	1) 対象及び組織内外の看護職者や他職種などに対してコンサルテーションを行う際の知識や方法論について習得する。さらに、自らの役割と能力を超える看護が求められる場合には、自ら支援や指導を受けることの重要性について理解する。	1) コンサルテーションの概念 2) コンサルテーションの方法 3) コンサルテーションの実際	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験・レポート、実技試験等による評価のいずれでもよい。	15
17.看護管理	1) 看護専門職として必要な看護管理に関する基本的知識・技術を理解し、実践の場において質の高い看護サービスを効果的・効率的に提供するための戦略や実践のアウトカム評価について検討する。	1) ヘルスケアシステムの構造と現状 2) 看護サービスの質管理 3) 組織における認定看護師の位置づけと役割の明確化 4) 看護実践のアウトカム評価	[授業形態] 講義及び演習 [評価方法] 筆記試験・レポート等による評価のいずれでもよい。	15

※1 「演習」：講義で学んだ内容を基礎として、少人数に分かれて指導者のもとで、議論や発表を行う形式の授業をいうこと。症例検討やペーパーシミュレーション等が含まれること。

「実習」：講義や演習で学んだ内容を基礎として、少人数に分かれて指導者のもとで、主に実技を中心に学ぶ形式の授業をいうこと。実習室（学生同士が患者役になるロールプレイや模型・シミュレーターを用いて行う場）や、医療現場（病棟、外来、在宅等）で行われること。ただし、単に医療現場にいるだけでは、実習として認められないこと。

※2 全ての共通科目（「指導」「相談」「看護管理」を除く）において筆記試験を行うとともに、実習を行う科目については構造化された評価表を用いた観察評価を行うものとする。

上記は「保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令の施行等について」の一部改正について（令和元年5月7日付け医政発0507第7号厚生労働省医政局通知）より引用。

特定行為研修の詳細については厚生労働省のホームページで確認のこと。

■専門科目・統合演習・臨地実習

教科目	教科目のねらい	単元・学習内容 片括弧は単元、両括弧以降は学習内容を示す	時間数	
認定看護分野専門科目	1. 腎不全看護概論	1) 腎不全医療・看護の全容を理解する。 2) 腎不全看護認定看護師の専門性と役割を理解する。 3) 腎不全看護における倫理を理解する。 4) 腎不全医療に関連する診療報酬について理解する。	1) 腎不全看護の歴史的背景と現状の課題 2) 看護学における腎不全看護の専門性 3) 腎不全看護における認定看護師の役割 4) 腎不全看護における倫理 5) 腎不全医療に関連する診療報酬	15
	2. 病態生理と治療法概論Ⅰ	1) 慢性腎臓病(CKD)の病態生理について理解できる。 2) 各期に応じた治療を理解できる。 3) 腎臓リハビリテーションの目的と方法を理解できる。 4) 小児腎臓病の病態と治療を理解できる。	1) 慢性腎臓病(CKD)の病態生理 2) 腎臓と全身的障害との関係 (1)腎臓と心血管 (2)腎臓と肺 (3)腎臓と肝臓 (4)その他 3) 慢性腎臓病(CKD)の診断と各期に応じた治療 (1)薬物療法 (2)非薬物療法 4) 腎臓リハビリテーションの目的と方法 5) 小児腎臓病の病態と治療	15
	3. 病態生理と治療法概論Ⅱ	1) 腎代替療法の原理・適応・合併症について理解できる。 2) 腎不全を基礎疾患とする人の病態と治療を理解できる。	1) 腎代替療法の概要 (1)血液透析療法 ①治療法の概要(原理と適応) ②透析困難症 ③合併症 (2)腹膜透析療法 ①治療法の概要(原理と適応) ②合併症 (3)腎移植 ①治療法の概要 ②合併症 2) 腎不全を基礎疾患とする人の病態と治療(手術療法、化学療法、妊娠・出産 等)	30
	4. 腎不全患者の理解	1) 腎不全患者の発達段階、身体・心理・社会的特徴について理解できる。 2) 腎不全患者及び家族の療養支援のための理論・モデルを理解できる。	1) 発達段階に応じた治療を受ける対象の理解 2) 療養支援に役立つ理論・モデル (1)家族理論 (2)ストレス・コーピング理論 (3)セルフケア理論 (4)自己効力理論 (5)病みの軌跡モデル (6)健康信念モデル (7)障害受容	30

教 科 目	教科目のねらい	単元・学習内容 片括弧は単元、両括弧以降は学習内容を示す	時間数
認定看護分野専門科目	<p>5. 腎不全患者及び家族の療養支援</p> <p>1)慢性腎臓病(CKD)各段階に応じた患者・家族の療養支援を理解し、療養生活に必要な技術を実践できる。</p> <p>2)腎不全患者・家族の意思決定支援を理解できる。</p>	<p>1)慢性腎臓病(CKD)の療養支援(CKD ステージ G1～G3) (演習含む)</p> <p>(1)セルフモニタリング</p> <p>(2)生活調整</p> <p>(3)服薬管理</p> <p>2)慢性腎臓病(CKD)の療養支援(CKD ステージ G4・G5) (演習含む)</p> <p>(1)病期の進展予防</p> <p>①日常生活支援</p> <p>②セルフマネジメント</p> <p>(2)療法選択支援</p> <p>①腎代替療法に向けての意思決定支援</p> <p>②SDM(Shared Decision Making)</p> <p>(3)導入準備</p> <p>①シャント造設部位の保護と管理</p> <p>②PD カテーテル位置決定への支援</p> <p>③導入に向けての生活調整</p> <p>(4)透析受容への支援</p> <p>3)透析導入期の療養支援(演習含む)</p> <p>(1)透析を生活に取り込むための支援</p> <p>(2)導入期指導</p> <p>4)透析維持期の療養支援(演習含む)</p> <p>(1)透析を維持するための支援</p> <p>①心理的なサポート(療法変更時のサポートを含む)</p> <p>②セルフマネジメント</p> <p>(2)合併症の予防</p> <p>5)腎移植後の看護</p> <p>(1)移植腎のモニタリング</p> <p>(2)服薬管理</p> <p>(3)感染予防</p> <p>(4)日常生活の注意</p> <p>6)終末期の療養支援(演習含む)</p> <p>(1)症状マネジメント</p> <p>(2)家族支援</p> <p>(3)ACP(Advance Care Planning)</p> <p>(4)EOL(End of Life)</p>	30
	<p>6. 治療を支える看護に必要な知識・技術</p> <p>1)治療を安全・安楽かつ適切に実施するために必要な知識と技術を理解し実践できる。</p> <p>2)足病変に対するケアを理解し実践できる。</p>	<p>1)治療を支えるために必要な知識・技術</p> <p>(1)血液透析(演習含む)</p> <p>①フィジカルアセスメント</p> <p>②バスキュラー・アクセス管理</p> <p>③至適透析計画</p> <p>(2)腹膜透析(演習含む)</p> <p>①フィジカルアセスメント</p> <p>②カテーテル管理と出口部ケア</p> <p>③至適透析計画(小児含む)</p> <p>④腹膜透析セルフケア指導技術</p> <p>2)足病変に対するケア(演習含む)</p> <p>(1)透析患者の足病変ハイリスク要因</p> <p>(2)フットケアの意義と基礎知識</p> <p>(3)足病変に対するアセスメント技術</p> <p>(4)フットケア技術と評価</p>	30

教 科 目	教科目のねらい	単元・学習内容 片括弧は単元、両括弧以降は学習内容を示す	時間数
認定看護分野専門科目	7. 治療環境に応じた安全管理	1) 透析治療における安全管理体制について理解できる。 2) 災害時の危機管理技術を理解できる。	15
	8. 腎不全看護における多職種連携と社会的支援	1) チーム医療において腎不全看護認定看護師の担う役割を理解し、多職種との連携を実践できる。 2) 地域包括ケアシステムにおけるチーム医療のキーパーソンとしての役割を理解できる。 3) 療養支援を支える社会資源について理解できる。	30

教科目(特定行為名)		概要	単元	時間数	授業形態※3 評価方法※4	
専 門 科 目 (特定行為研修区分別科目)	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 特定行為ごとに学ぶべき事項	共通して学ぶべき事項	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	1)循環動態に関する局所解剖 2)循環動態に関する主要症候 3)脱水や低栄養状態に関する主要症候 4)輸液療法の目的と種類 5)病態に応じた輸液療法の適応と禁忌 6)輸液時に必要な検査 7)輸液療法の計画	22	[授業形態] 講義 演習 実習 [評価方法] 筆記試験 各種実習の 観察評価
		持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	1) 医師の指示の下、手順書により、身体所見(食事摂取量、栄養状態等)及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整を行う。	1)低栄養状態に関する局所解剖 2)低栄養状態の原因と病態生理 3)低栄養状態に関するフィジカルアセスメント 4)低栄養状態に関する検査 5)高カロリー輸液の種類と臨床薬理 6)高カロリー輸液の適応と使用方法 7)高カロリー輸液の副作用と評価 8)高カロリー輸液の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む) 9)低栄養状態の判断と高カロリー輸液のリスク(有害事象とその対策等) 10)高カロリー輸液に関する栄養学		
		脱水症状に対する輸液による補正	1) 医師の指示の下、手順書により、身体所見(食事摂取量、皮膚の乾燥の程度、排尿回数、発熱の有無、口渇や倦怠感の程度等)及び検査結果(電解質等)等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、輸液による補正を行う。	1)脱水症状に関する局所解剖 2)脱水症状の原因と病態生理 3)脱水症状に関するフィジカルアセスメント 4)脱水症状に関する検査 5)脱水症状に対する輸液による補正に必要な輸液の種類と臨床薬理 6)脱水症状に対する輸液による補正の適応と使用方法 7)脱水症状に対する輸液による補正の副作用 8)脱水症状に対する輸液による補正の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む) 9)脱水症状の程度の判断と輸液による補正のリスク(有害事象とその対策等)		

教科目(特定行為名)		概要	単元	時間数	授業形態※3 評価方法※4
専門科目(特定行為研修区分別科目)	共通して学ぶべき事項		1) 血液透析器及び血液透析濾過器のメカニズムと種類、構造 2) 血液透析及び血液透析濾過の方法の選択と適応 3) 血液透析器及び血液透析濾過器の操作及び管理の方法	15	〔授業形態〕 講義 演習 実習 〔評価方法〕 筆記試験 各種実習の 観察評価
	透析管理関連 特定行為として学ぶべき事項	1) 医師の指示の下、手順書により、身体所見(血圧、体重の変化、心電図モニター所見等)、検査結果(動脈血液ガス分析、血中尿素窒素(BUN)、カリウム値等)及び循環動態等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過装置の操作及び管理を行う。	1) 急性血液浄化療法に関する局所解剖 2) 急性血液浄化療法を要する主要疾患の病態生理 3) 急性血液浄化療法を要する主要疾患のフイジカルアセスメント 4) 急性血液浄化療法における透析の目的 5) 急性血液浄化療法に係る透析の適応と禁忌 6) 急性血液浄化療法に伴うリスク(有害事象とその対策等)		

※3 「演習」: 講義で学んだ内容を基礎として、少人数に分かれて指導者のもとの、議論や発表を行う形式の授業をいうこと。症例検討やペーパーシミュレーション等が含まれること。

「実習」: 講義や演習で学んだ内容を基礎として、少人数に分かれて指導者のもとの、主に実技を中心に学ぶ形式の授業をいうこと。実習室(学生同士が患者役になるロールプレイや模型・シミュレーターを用いて行う場)や、医療現場(病棟、外来、在宅等)で行われること。ただし、単に医療現場にいただけでは、実習として認められないこと。

- ・実習においては、病態判断から特定行為実践後までの一連の過程を効果的に学べるよう適切に行うこと。
- ・患者に対する実技を原則とし、当該指定研修機関が設定した特定行為研修の到達目標が達成されるよう、行為の難度に応じて5例又は10例程度の必要な症例数を指定研修機関において適切に設定すること。なお患者に対する実技を行う実習の前には、ペーパーシミュレーション、ロールプレイ、模擬患者の活用、シミュレーターの利用等のシミュレーションによる学習を行うこと。ただし、これらは実習の症例数には含まないこと。
- ・患者に対する実技を行う実習の際には、1例目は、指導者が行う行為の見学又は手伝い、2例目からは、指導者の指導監督下で行う。次第に指導監督の程度を軽くしていく(指導者の判断で実施)ことが望ましいこと。

- ※4
- ・全ての区分別科目において筆記試験及び構造化された評価表を用いた観察評価を行うとともに、一部の科目については実技試験(OSCE: Objective Structured Clinical Examination (臨床能力評価試験))を行うものとする。
 - ・実技試験(OSCE)が必要な区分別科目においては、患者に対する実技を行う実習の前に、実技試験(OSCE)を行うこと。
 - ・区分別科目における実習の評価は、構造化された評価表(Direct Observation of Procedural skills (DOPS)等)を用いた観察評価を行うこと。また、構造化された評価表を用いた観察評価では、「指導監督なしで行うことができる」レベルと判定されることが求められること。
 - ・指導者は、特定行為研修における指導に当たっては、受講者にポートフォリオを利用して評価結果を集積し、自己評価、振り返りを促すことが望ましいこと。
 - ・実技試験(OSCE)については、指定研修機関及び実習を行う協力施設以外の医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の医療関係者を含む体制で行うこと。また筆記試験及び構造化された評価表を用いた観察評価については、指定研修機関及び実習を行う協力施設以外の医師、歯科医師、薬剤師及び看護師その他の医療関係者を含む体制で行うことが望ましいこと。

上記は「保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令の施行等について」の一部改正について(令和2年10月30日付け医政発1030第4号厚生労働省医政局通知)より引用。

特定行為研修の詳細については厚生労働省のホームページで確認のこと。

	教 科 目	教科目のねらい	単 元	時間数
統 合 演 習	統合演習	1) 腎不全患者・家族への看護過程を理論的根拠のもとに展開できる。	1) 臨地実習での受け持ち患者のケースレポート作成・発表(文献検索を含む)	15
臨 地 実 習	臨地実習	1) 腎不全看護の役割を理解し、看護チームや多職種と協働しながら水準の高い看護実践ができる。 2) 腎不全看護の実践を通して役割モデルを示し、看護職への指導および看護職等への相談を行うことができる。	1) 腎不全看護を必要とする患者を1事例以上受け持ち、看護過程を展開する。 腎代替療法を受ける患者を受け持つ場合は、以下の(1)～(6)の事例から選択することが望ましい。 (1)透析導入期 (2)透析維持期 (3)透析困難症 (4)腹膜透析患者 (5)自己管理が困難な人 (6)社会的支援を必要とする人 2) 以下の見学実習を行う。 (1)腎不全に関連した専門外来(医師・看護師等が実施する外来) (2)腎臓病教室等の集団教育の場 3) 多職種協働カンファレンスや症例検討等の場において、積極的に発言し、職種間の連携を促進することで問題解決を図る。 4) 腎不全看護に携わる看護師に対して指導を行う。 5) 看護職等に対してコンサルテーションを行う。(見学を含む)	150